



2019年5月27日

「RFP作成支援サービス」の提供開始

SOMPOリスクマネジメント株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：布施 康、以下「SOMPOリスク」）は、5月27日から、「RFP^(*1)作成支援サービス」（以下「本サービス」）の提供を開始します。

*1 Request For Proposal（提案依頼書）の略で、発注先の候補となっているベンダー各社に対し、ユーザーが提案や見積の提出を依頼するための文書。RFI（Request For Information：情報提供依頼書）をベンダーに提示し、必要な情報提供を依頼する場合があります。

1. 背景

情報化社会の進展に伴い、企業がシステム開発をする機会が多くなってきました。その一方で、システム開発に関するユーザー（発注者）とベンダー（受注者）のトラブルも散見され、訴訟に発展する事例も少なくありません。

SOMPOリスクは、リスクマネジメント業務を通じてさまざまな企業・団体を支援しており、近年は、損害保険ジャパン日本興亜株式会社（以下「損保ジャパン日本興亜」）のIT関連保険の損害鑑定業務を通じて、さまざまなシステム開発・運用に関する知見を蓄積してまいりました。

こうした背景を踏まえ、SOMPOリスクは、本サービスの提供を開始することとしました。

2. 本サービスの概要

(1) 内容

SOMPOリスクの専門コンサルタントが、ウォーターフォールモデル^(*2)の初期段階である「システム化の方向性・システム化計画」または「要件定義」（別紙ご参照）において、RFPの作成を支援します。

*2 複数の工程に分け、各段階を1つずつ順番に終わらせて次の工程に進めていく開発方式です。上流から下流へ水が流れ落ちるように、逆戻りせずに進めることに由来します。

(2) 特長

損保ジャパン日本興亜のIT関連保険の損害鑑定に関わっているSOMPOリスクの専門コンサルタントが、過去の損害鑑定を参考に、リスクマネジメント支援やシステム開発を通じて培った経験・ノウハウを活用して支援します。

(3) 費用・期間^(*3)

【1】費用

「システム化の方向性・システム化計画」「要件定義」のいずれの場合も各100万円（税抜）～

【2】期間

1か月～

*3 システム規模や支援内容により異なります。

3. 受注目標

年間 10 件、1,000 万円の受注を目指します。

4. 今後の展開

SOMPOリスクは、本サービスを通じて、企業の皆さまのシステム開発の円滑な検討に貢献してまいります。

SOMPOリスクマネジメントについて

SOMPOリスクマネジメント株式会社は、損害保険ジャパン日本興亜株式会社を中核とするSOMPOホールディングスのグループ会社です。「リスクマネジメント事業」「サイバーセキュリティ事業」を展開し、全社的なリスクマネジメント（ERM）、事業継続（BCM・BCP）、サイバー攻撃対策などのソリューション・サービスを提供しています。

サービス内容に関するお問い合わせ先

SOMPOリスクマネジメント株式会社 リスクマネジメント事業本部
リスク調査部 [担当：佐々木]
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル
TEL：03-3349-5478（直通）

報道機関の方からのお問い合わせ先

SOMPOリスクマネジメント株式会社
総務部 [担当：田所]
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル
TEL：03-3349-4330

以上

<別紙> 「システム化の方向性・システム化計画」および「要件定義」段階

名称	概要
<p>①システム化の方向性・システム化計画</p>	<p>システム化の方向性：システム開発の前に、ユーザーの業務部門が十分な検討を繰り返し、経営層による承認を受けてシステム化の方向性を決定するフェーズ。ユーザーがRFPを依頼し、ベンダー等から「仮試算見積レベル」の見積提案を受ける。</p> <p>システム化計画：ユーザーの業務部門がシステム化計画書を作成し、経営層による承認を受けるフェーズ。RFPを依頼し、ベンダー等から「試算見積レベル」の見積提案を受ける。</p>
<p>②要件定義</p>	<p>ユーザーの業務部門が業務要件、情報システム部門がシステムの機能要件・非機能要件を定義し、経営層による実行稟議、承認を受けるフェーズ。ユーザーがベンダーにRFPを依頼して「概算見積レベル」の見積提案を受ける。</p>